



党機関紙

「京都党」

第22号

トピックス 1面 …「改革発表会」に出場しました！・本年度常任委員会所属について

2面 …市議会報告①～5月議会を振り返って～・市議会報告②～提言書提案しました～

3面 …市議会報告③～委員会質問～

4面 …森議員 賛成討論～京都市焼却灰溶融施設～・今後の予定お知らせ

「改革発表会」に出場しました！

全国の地方議会の予算・決算案の可決率→なんと、99%越え!!

私たちが兼ねてより「地方議会不要論が言われる最大の要因」と問題視する、地方議会の構造的な課題が取り沙汰されました。二元代表制のもと「車の両輪」とも言われる市長と議会ですが、実際のところ、予算編成から人事権におけるまで首長に権限があり、露出度なども首長の方がはるかに多く、首長と議会には圧倒的な権限の差が生じています。京都市では特に市長の権限に寄り添う与党の構造が強く、「首長VS議会」というより「首長及び与党会派VS野党会派VS中立会派(京都党)」と市長との対立ではなく、議会内での対立となり、本来の健全な議会のチェック機能や提案権を果たせていないのが実状です。

“当たり前の政治を京都から”、全国的な弊害への突破口を京都から開くべく、必然性を再確認した次第です。

(代表 江村理紗)

平成28年5月12日に開催された日本自治創造学会「改革発表会」に地域政党京都党として出場いたしました。

惜しくもベスト5入りにはなりませんでしたが、最後の講評で、日本自治創造学会の会長から「地域政党京都党の発表も個人的には大変素晴らしかった」と名指しでお褒めの言葉を頂戴しました。

全国に通用する改革が進められるよう、今後もしっかりと取り組んで参ります！

ちなみに個人で出場した村山議員は、議員の日常の広報活動について表彰されました。



本年度常任委員会所属について

村山議員以外は昨年度と同じ委員会所属ですが、このたび、大津議員が保健福祉委員会の副委員長に就任しましたので、ご報告いたします。

●経済総務委員会 江村理紗

●まちづくり委員会 村山祥栄

●保健福祉委員会 副委員長 大津裕太

●くらし環境委員会 森かれん

森議員賛成討論 ～京都市焼却灰溶融施設～

【討論概要】

本裁判において京都市の請求が棄却されたことは、住友重工に対し2度にわたる厳しい決議を付した京都市会として非常に残念であります。今後の結果は甚大な影響を与えかねないため、控訴するにあたっては判決結果を徹底的に検証・分析し二審勝訴に全力で取り組んでいただくことを強く求めます。

契約解除後も未だごみ最終処分場の延命については課題が残されたままです。この問題は市民に対し「ごみ袋有料化」というご負担をお願いしている主たる要因であるのみならず現代社会における自治体の政治的課題であります。

裁判への取り組みと並行して早急に手を打たなければなりませんし、最終処分場の延命に関しては「ごみの2Rの推進」「最終処分場そのものの延命策」の両面から考える必要があります。

早期に最終処分場の延命に関する対策案を策定し、より良い環境政策を推進することと、重ねて本訴訟につきましては二審勝訴に全力で取り組んでいただくことを強く求めます。

(森かれん)

今後の予定お知らせ

7月下旬以降、各京都党市会議員の市政報告会と懇親会が続々と行われます。詳しくは各議員の事務所へお問合せ下さい。また、8月には京都党市議団による新たな試みである「車座集会」が開かれる予定でございます。詳細については別紙ご案内をご覧ください。お一人でも多くのご参加をお待ちいたしております！

[各議員市政報告会・パーティ]

森 かれん 平成28年7月24日(日曜日) 大津裕太 平成28年9月 4日(日曜日)

村山祥栄 平成28年7月31日(日曜日) 江村理紗 平成28年9月11日(日曜日)

[車座集会]

1回目 平成28年 8月 6日(土) 13:10～ 北文化会館 北区北大路バスターミナル上

2回目 平成28年11月10日(木) 19:00～ ラポール京都 中京区四条御前西入る

各議員の日々の活動や動画などをたくさん発信しております。
ぜひアクセスしてみてください！！

地域政党 京都党

〒606-0813京都市左京区下鴨貴船町46

TEL 075-712-9977 FAX 075-712-9963 MAIL jimu@kyoto-party.com

地域政党京都党ホームページ<http://www.kyoto-party.com/>

京都党議員団ホームページ<http://www.kyoto-to.com/>



市議会報告①～5月議会を振り返って～

5月20日に開会した5月議会。京都党市議団は体制を再構築し、望んだ最初の議会でした。経済、観光、総務、防災を担当する経済総務委員会に江村議員、教育、福祉、保健を担当する教育福祉委員会に大津議員、文化、環境等を担当するくらし環境委員会に森議員、都市計画、建設を担当するまちづくり委員会に私、村山が担当になりました。早速、焼却灰溶融炉施設の損害賠償訴訟案件(京都市が工事を遂行できなかった住友重機械工業を訴えている件)や京都駅八条口南口整備工事の改善要求などの審議を中心に取り組みました。また、全体としては民泊を巡る対応や文化庁京都移転を巡る補正予算が審議され、一方で凍結中だった高速道路3路線の廃止などが決定、恒例の副議長辞任に伴い曾我新副議長が選出されました。

またこのたび、新たに政務の取りまとめとして私が市議団団長に復帰する運びとなりました。新市議団、一丸となって引き続き市政発展に尽くして参りたいと存じます。(村山祥栄)

市議会報告②～提言書提案しました～

●●観光税●●

「なぜ我々の税金が観光ばかり使われるの？観光客のせいで渋滞はするし、地元は大変」観光政策に対する市民の本音だ。

しかし、観光インフラはまだ不足している。観光インフラを市民の税金だけに頼るのも正直限界だ。そこで、観光客にも一部負担頂く観光税の導入を宿泊税先進国イタリアでの調査も交え提案した。欧州型の五つ星制を導入し、星の数に応じ課税、税収UP、観光政策の起爆剤になること請け合いだ。詳しくはHPを参照願いたい。



●●八条口前広場の整備●●

京都駅八条口南側広場整備事業が完成目前を控え、一般乗降場が溢れ、身障者スペースは守られず、混乱が続く。京都党では、GWから終日の現場調査を重ね、データを取り、緊急改善提案を行っている。観光客や市民にも優しいバランスの取れた八条口になるよう、5月議会の委員会質疑に続き、党として京都市への政策提言、調査資料のプレスリリース、毎日放送のニュースの出演など様々な展開を続けております。詳細はHPをご覧ください。



市議会報告③ ～委員会質問～

【定住1人で日帰り観光客81人分！ 今こそ京都で定住促進！】

政令市の中でも北九州市と並び人口減少が始まった京都市。定住人口の確保に向けて定住促進事業の提唱を行いました。



(↑「熱海時間」<http://www.city.atami.shizuoka.jp/atamijikan/> 11月ページより)

委員会では、本格的に定住促進に向けターゲットを絞り込みと効果的な広報の重要性を提案しました。本年度は予算化され、本格的に事業が開始されます。子育て世代に京都に移り住んでもらうことで街の活力に繋げるよう積極的に提案を続けて参ります。

(江村理紗)

平成27年10月6日予算特別委員会質問より

【待機児童ゼロと 増える「隠れ待機児童」】

京都市は、H28年4月1日時点で3年連続で待機児童がゼロであった旨を公表しましたが、希望の近隣の保育園に入れずに辞退した「隠れ待機児童」は右肩上がり増加しています。働く親御さんの実生活と乖離した「自宅から30分未満であれば通える」という定義に問題があります。エリアごとの需給を細かく把握し対策を行うよう提言しております。京都市は、保育園政策では先進都市です。引き続き、より良い子育て環境の整備に力を入れて参ります。



【二条城から京の文化財の 価値を高める為には】

二条城に置かれている案内板やパンフレットを読んでも、「二条城で一体何が行われたのか」は正直今一つわかりません。

歴史的な大転換が起こった二条城の良さを文字媒体だけで伝えるのではなく、5月の補正予算で2億2800万の計上をしているからには、音声ガイドの充実や歴史を体感できるイベントの開催などを積極的に行うべきだと提言しております。

(森かれん)

